

平成27年度港湾関係研究奨励助成の決定について

平成27年12月吉日
公益社団法人 日本港湾協会
研究奨励助成事業 事務局

公益社団法人 日本港湾協会では、港湾の利用振興や発展等に役立つ経済、経営、計画、法律、文化などの研究を行う研究者や研究グループ等に対する研究奨励助成制度（選定者には1件100万円以内の助成）を平成16年度より設置しております。

本年度は日本港湾協会の情報誌「港湾」やホームページなどを通じ、平成27年7月1日から8月31日まで募集を行い、港湾防災や港湾経営、国際物流、港湾整備などの分野で12件の応募がありました。

研究奨励助成審査委員会（委員長 玉置和宏 毎日新聞社特別顧問）で審査の結果、下記の4件の研究について助成を行うことと致しました。

なお、本研究助成は、来年度も継続して実施を予定しております。

【27年度港湾関係研究奨励助成が決定した研究テーマ・研究者】（順不同、代表者敬称略）

1. ハンブルグ港の大規模都市開発事業（ハーフェンシティ・プロジェクト）におけるエリアマネジメントに関する研究
太田 尚孝（福山市立大学大学院都市経営研究科 准教授）
2. EU・日本式に融合した「完全シームレス SCM 物流」のインダストリー4.0（第4次産業革命）に向けて
藤原 敏久（(公財)アジア成長研究所 客員研究員）
3. 震災時の船舶から港湾荷役設備への給電に関する研究
金子 仁（東海大学海洋学部航海工学科 非常勤講師）
4. 港湾海外 ODA プロジェクトのアーカイブス整備に関する研究
福田 敦（日本大学理工学部交通システム工学科 教授）